

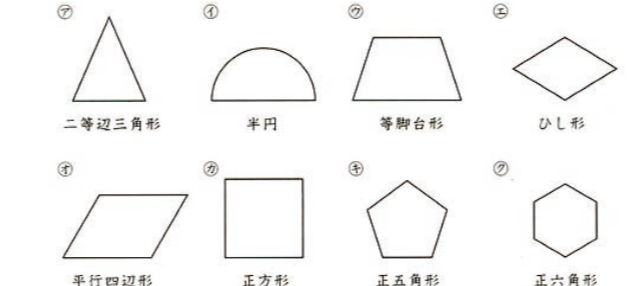
# ドローイングマスター資格講座 ベーシックコースカリキュラム

(各回 240 分 / 講義 30 分, 演習 160 分, プレゼン&ディスカッション 50 分)

第1回	講義編：デザイン論概説①	演習編①：図形を描く・スケールを身につける	プレゼン&ディスカッション編	到達目標①
第2回	講義編：デザイン論概説②	演習編②：図形を間取りにする	<p>①講義レポートの作成と感想</p> <p>②演習の成果と今後の課題のプレゼン</p>	到達目標②
第3回	講義編：デザイン論概説③	演習編③：スケールを身につける・間取りをイメージする		到達目標③
第4回	講義編：デザイン論概説④	演習編④：デザインを提案し空間を表現する		到達目標④
第5回	講義編：デザイン論概説⑤	演習編⑤：空間を表現する・提案をまとめる	<p>③ディスカッションタイム（フリーゼミ）</p> <p>各回ごとに異なったテーマを設け、頭の体操としてディスカッションを行います。</p> <p>〈テーマの例〉</p> <p>「私の興味」</p> <p>「かわいって何だろう」</p> <p>「Out of Fashion - ダサいこと -」</p> <p>「新しいあそび」</p> <p>など</p> <p>なお、テーマは各自の関心を踏まえて決定します。</p>	到達目標⑤

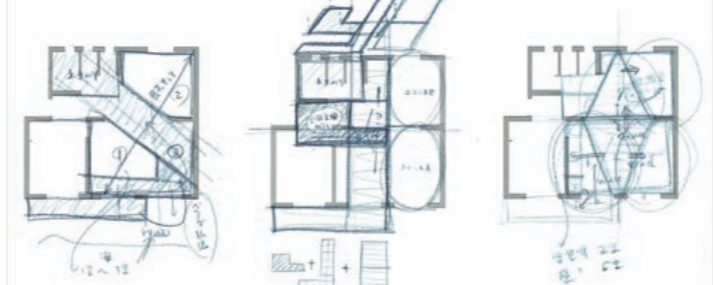
一般的な身近な住宅からデザイナーによる住宅まで、様々なデザインの事例を挙げ、建築における「デザイン」とは何かを理解します。また、意外と知られていない設計士と建築家の立場やその仕事の違いなどを比較し、デザイナーに求められる職能について学習します。

前半は簡単な図形を繰り返し描く練習を行います。この反復練習を行うことで、「絵を描くこと」に対する苦手意識を克服し、さらに「上手に見える書き方のコツ」を身につけます。後半は、家具や人を描く練習を行い、前半で描いた図形の中に書き込んでいきます。このことで空間のスケールを把握する感覚を身につけます。



第1線で活躍するデザイナーとそのアイデアの発想法、アイデアの育て方を事例としてデザインプロセスを紹介し、今後の取り組みのイメージを掴んでもらう内容としています。この回は、建築だけでなく幅広いデザインについて扱います。

前半は、簡単な間取図をベースにして様々な図形を重ねて描く練習を行います。どのような図形を描くと、どのような空間ができるのか、空間をよりおもしろくデザインする感覚を養います。後半は作った空間にどのような用途が当てはまるか考え、形を整えていく練習を行います。



建築家・デザイナーになるためのデザイン力を身につける方法について学びます。デザインはスキルだけではなく、柔軟な発想力を身につける必要があります。どのようにしたら発想が柔らかくなるか、または正しい判断ができるようになるか、実践的な取り組み方を中心に扱います。

前半は、右図のキットを組み立て、ひとと家具を配置することによって様々なシーンを作ります。また同時におおよその必要な広さや幅など、空間の寸法・スケールを身につけます。後半は、前半に組み立てたキットを各自が描いた間取図に直接乗せて、うまく成立するようにデザインを検討します。



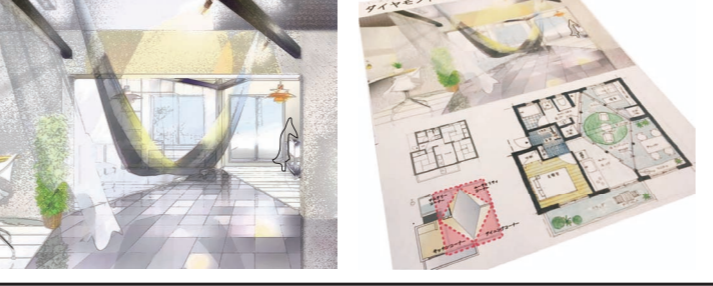
建築デザイン業務の受注から完成まで、プロのデザイナーの一連の仕事の仕方について学びます。この一連の流れを学習することで、建築系プロジェクトにおけるデザインの位置づけと意味、その可能性について理解を深めます。

前回の成果をもとに、デザイン画を描いていきます。このとき、ある程度の仕上げやインテリアの要素(家具や植栽など)まで描き、着色も行います。また、各自のプランで最も「見せ場」となるパースの構図を検討し、下絵まで作成します。



とくに革新的な現代建築作品を対象に、建築・空間の新しい構成法とそのデザインの展開力について学びます。また、建築デザインを修得することによって、どのような仕事に活かすことができるか、その展開力について実例を踏まえた内容を扱います。

プランとパースの仕上げを行い、1枚のシートに作品としてきれいにレイアウトまで行います。このとき、自分の考えを簡単に示す図(ダイアグラム)を作成するとともに、美しく見えるレイアウトの方法まで学びます。



講義：これまで各自が考えていた「デザイン」について振り返って考えることができる

演習：前半  
図形描画を通して、美しい線でバランスの良い図形を描くことができる

演習：後半  
家具やひとのシルエットを描くことができる

講義：デザインのプロセスを理解できる

演習：前半  
既成概念を払拭した様々なプランの可能性を図で複数案(3案程度)示すことができる

演習：後半  
空間として成り立つ見通しが立てられ、プランの課題を自覚できる

講義：デザインができるようになるための各自の課題と関心を明確化できる

演習：前半  
キットの組み立てで様々なシーンをつくり出すことができる

演習：後半  
スケール感を把握し、オリジナルの間取りをつくること

講義：各自が実際に仕事として取り組めるシーンが想定できる

演習：各自の考えている間取り・空間をグラフィカルに表現することができ、その空間の最大のポイントを自覚しイメージすることができる。

インテリアを表現することができる。

講義：挑戦してみたい課題を自ら見つけることができる

演習：空間を描くことができ、提案をきれいに用紙にレイアウトでき、他者に自分の案について興味を引くようなプレゼンテーション(発表・提案)ができる。